

## コレオプシス 4 品種 アーリーサンライズ ライジングサン サンファイア サンアップ

学名: *Coreopsis grandiflora*

種子粒数: 375 粒/グラム

### 開花要因:

- 初年開花ペレニアル品種
- バーナリゼーション: 低温処理は不要
- 日長反応: 長日開花植物であり、限界日長時間は品種に依る(下記)が 12 時間半から 14 時間
  - アーリーサンライズ: 14 時間
  - ライジングサン、サンファイア: 13 時間
  - サンアップ: 12 時間半

### プラグ生産ステージ

#### 培地

水はけがよく、新しく衛生的な培地を用いる。土壌 pH は 5.8 から 6.2、初期養分値は中庸として、EC 値は 0.75 mmhos/cm(1:2)以下とする。

#### 播種

288 穴トレイでは 1 粒播きとする。容積の大きなトレイの場合、2 から 4 粒播きとする。パーミキュライトで軽く覆土する。

ステージ 1 - 発芽日数は 5,6 日

温度: 発芽温度は 18 から 20°C

光条件: 光はオプションナル(任意)

水分: ステージ 1 の間は、水分レベルを適度な湿潤の level 4 に維持

湿度: 幼根が発生するまでは相対湿度を 95 から 97% で維持する

#### ステージ 2

地 度: 21 から 22°C

光条件: 26,900 ルクス(2,500 f.c.)を上限とする

水分: 培地の水分を下げつつ、適度な湿潤の level 4 から標準の level 3 の範囲として、根が培地に十分育つように促す

肥 料: リン酸の低い硝酸態の肥料をレート 1 (100ppm(N)以下、EC:0.7 mS/cm)で与える

#### ステージ 3

地 度: 20 から 21°C

光条件: 26,900 ルクス(2,500 f.c.)を上限とする

水分: 培地の水分レベルをさらに下げ、水やりの直前には培地の表面が明るい茶色に乾くような(適度に乾燥する level 2 の)状態とする。水分レベルは湿潤と乾燥(レベル 4 から 2)を繰り返す

肥 料: リステージ 2 と同じ

矮化剤: このステージでは概ね不要。

### ステージ 4

温度: 18 から 19°C

光条件: 温度が管理されているのであれば、54,000 ルクス(5,000 f.c.)を上限とする

水分: ステージ 3 と同じ

肥 料: ステージ 3 と同じ

### 鉢上げから出荷まで

#### コンテナサイズ

10 から 12cm ポット: プラグ 1 本を移植

18cm ポット: プラグ 1 から 3 本を移植

#### 培地(用土)

水はけがよく、ピート主体の新しい用土を使用。培地の pH は 5.5 から 6.2、また初期養分値は中庸として、EC 値は 0.75 mmhos/cm(1:2)とする。

#### 温度

昼間温度: 16 から 21°C

夜間温度: 13 から 16°C

#### 照度

温度が適正な範囲内であればできるだけ高く維持する

#### 日長時間への反応

コレオプシスは長日開花植物であり、限界日長時間は品種に依る(下記)が 12 時間半から 14 時間。

○ アーリーサンライズ: 14 時間

○ ライジングサン、サンファイア: 13 時間

○ サンアップ: 12 時間半

※ 春先に出荷する作型では、サンアップはサンファイアやライジングサンよりも約 1 週、またアーリーサンライズよりも 2,3 週早く開花する。

#### かん水

培地の水分レベルは適度な湿潤と乾燥(レベル 4 から 2)を循環的に繰り返す。極端な過湿と乾燥は避ける。

#### 肥料

移植後 1 週で、硝酸態を主体とした、リン酸が少なくカリウムの多い肥料を用いて、レート 3(175-225ppm(N)、(1.2-1.5mS/cm))から開始する。pH が 5.8 から 6.2、EC が 1.5 から 2.0mS/cm の適正域にあることを確認する。

上記のほか、レート 2(100-175ppm(N)、(0.7-1.2mS/cm))を多頻度で施肥する方法も可能。その場合も、上記の示された pH および EC の値を範囲内で維持する。

### PGR(矮化剤)

コレオプシスは B ナインによく反応する植物である。必要であれば、花芽が現れた段階で、B ナイン 2,500 から 5,000ppm の葉面散布によって効果が確認されている。

### ピンチ

ピンチは不要である。

### スペーシング

コレオプシスはタイトな間隔でも作りやすい植物だが、換気と風通し良好であることを必ず確認する。

### 平均的な生産期間

播種から移植まで(288 穴トレイ): 5 から 6 週

移植から出荷まで:

サンアップ: 7 から 9 週

ライジングサン、サンファイア: 8 から 10 週

アーリーサンライズ: 9 から 12 週

### 病例等

害虫: スリップス、アブラムシ、ホワイトフライに注意

病気: ウドンコ病などに注意

### 花壇や造園への定植について n

- この栽培資料で紹介しているコレオプシスはすべて初年開花のペレニアル品種であり、USDA の耐寒指標はゾーン 4 から 9(最低温度  $-34^{\circ}\text{C}$ )に属する。
- 降霜の時期を過ぎていれば、日あたりの良い花壇などに定植する。
- 25 から 36cm のスペーシング(株間)をとり、水はけのよい土壌へ定植する。
- しっかりと活着したあとは、コレオプシスは乾燥への耐性がとても強くなる

### 注意点:

- 同品種を生産するにあたって、ここで示されている栽培情報は基本的な参考資料としてご利用ください。生産された植物は、気候条件や地理的な緯・経度、また作型の時期、ハウスの環境によって結果が異なることがあります
- 殺虫・殺菌剤、また矮化剤の使用についての記載はあくまでもガイドラインであり、必ず使用方法を十分にまた正しく読み、使用者の自らの責任のもとでそれに則った正しい使用方法とるようにしましょう

**EC 値について:** EC(電気伝導度)は、ピート主体の北米の用土を算出の基準としているので、条件によっては適合し得ない場合もあります。